２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①自身の考えを文章にして書いたり、文章を読んで内容を理解したりする力。 ②課題解決に向けた方策を見つける力。 ③情報やデジタル技術を理解して、適切に活用する力。	④計画・実行・振り返りにおいて課題を発見し、解決したり新たな価値を創造したりする力。 ⑤多様な考えを伝えたり、理解したりしながら協働し、対立やジレンマに対処する力。	⑥困難な課題に対して、先生に聞いたり、調べたりして粘り強く取り組み、目標を達成する力。 ⑦互いの良さを生かして協働する力。 ⑧学習の進め方について試行錯誤し、調整する力。

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	④	④教科書で学習した後に、教科書以外の教材を用いて、文章にまとめる課題を設定する。単元の開始時と終了時に感想を書き、その変容を見取るとともに、それを交流させて意見の深化を図る。	
社会	⑤	⑤少人数グループでの学習や話合い活動、協働学習を展開し、班の意見の要約や自身の考えを表現する機会を充実させる。	
数学	②	②問題演習時に既習事項の確認をする。見通しのある授業を実施する。	
理科	⑤	⑤実験の予想やまとめの場面で、ＩＣＴやホワイトボード等を活用し、自分の考えを表現する力や思考する力を育成する。	
外国語	①④	①学んだ表現やそれらを網羅した初見の英文を読ませる。授業で聞いたり読んだり話したりしたことを書く活動につなげる。 ④単元計画・評価基準・Ｃａｎ-ｄｏリストを生徒に提示する。	
音楽	⑦	⑦パート練習やペア学習など、学習形態の工夫をする。	
美術	②	②題材において、自分の考えを基に発想や構想力を身に付けながら、自分の思いを伝え表現する機会を充実させる。	
技術	③⑤	③自分で設定した課題解決のために、ICT 端末を利用して調べ、それを発表する。 ⑤作業を協働し、共有化を図る。	
家庭	②	②自分の生活を振り返って課題を設定し、自分の生活をより良くするための改善策について、協働学習を通して考える。	
保健体育	④⑦	④スキルアップトレーニングを自分たちの力に合わせて考えさせる。 ⑦ペアやグループでコーチングを行う取組を充実させる。	
特別の教科　道徳	⑤	⑤多角的、多面的に考えさせる場面を設け、多様な考えに触れる機会を充実させる。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○あいさつ運動	・学期当初の３日間、ＰＴＡと合同であいさつ運動を実施する。
○Ｋ-タイム（朝学習・朝読書）の充実	・落ち着いた学校生活のスタートを迎える。 ・テスト前部活動休止期間は朝学習を可とする。
○面談（二者面談・三者面談）を通して、積極的な生徒理解	・学期に１回の二者面談を実施する。 ・夏休み、１１月に全校三者面談を実施する。
○ＩＣＴを活用した授業、家庭学習の支援	・大型モニター、ＩＣＴ端末、板書のバランスのとれた学習指導を実施する。 ・ＩＣＴ端末の貸出、オンライン授業を実施する。
○レインボールームの有効活用	・なかなか教室に足が向かない生徒を支援するための教室を開室して教員を配置し、学習指導の補充やオンライン学習などを行っている。
○生徒会活動・専門委員会の充実（生徒集会）	・月１回の生徒集会の実施。ＰＴＡとの意見交換を実施する。
家庭教育との連携	
○家庭との連携（日々の情報共有、家庭訪問、面談等）	・生徒の欠席時における、電話連絡、またはさくら連絡網を活用した情報共有を図る。必要に応じた家庭訪問を実施する。
○オンライン教材を活用した家庭学習の充実	・まなびポケット（スクールタクト）を活用する。 ・Ｇｏｏｇｌｅクラスルームを活用する。 ・ｅライブラリーを活用する。
○ＰＴＡ活動の充実（美化活動、奉仕活動等）	・あいさつ運動、登校指導を実施する。 ・全体奉仕作業、安全点検を実施する。